



議会だより

せとうち

2023
9.1
第75号



新体制スタート 2～3
議案審議 4～6
副市長選任 6
一般質問 7～13

市民の声を市政に生かす議会に



就任あいなせ

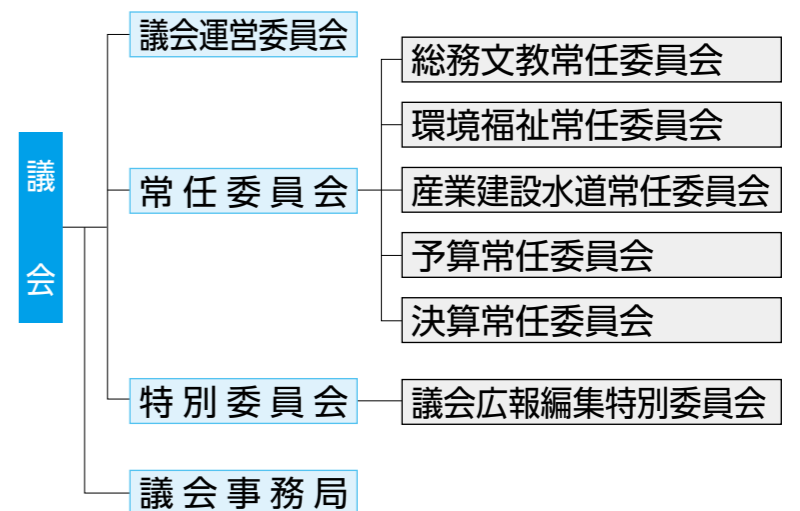
副議長
河本 裕志

議長
小谷 和志

副議長に就任させていただき、身の引き締まる思いで、その責務の重大さを痛感いたしております。議長をしっかりと補佐し、円滑な議会運営に努めてまいります。今後もコロナ感染症に注意しつつ、人口減少・少子高齢化などの課題に向き合い、議会で活発な議論をしていく中で、市民の皆さまに開かれた議会を目指してまいります。今後とも、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

議長に就任させていただき、身に余る光栄とともに、責任の重さを痛感いたしております。コロナ禍において、市民と議会との交わりの機会が減少したと感じています。議会の必要性を發揮するためには、議会と市民を近づけていくことが急務であります。市民の声を市政に生かし、市民に必要とされる議会を目指し、議会が活発な議論の場となるよう全力を尽くしてまいります。ご指導ご支援をお願い申し上げます。

議会構成図



議会運営委員会

- 委員長 石原 芳高
副委員長 日下 俊子
委員 秦井 誠司 厚東 晃央
河本 裕志 原野 健一
小野田 光 廣田 均

議会選出監査委員

廣田 均

環境福祉常任委員会



- 委員長 厚東 晃央
副委員長 秦井 誠司
委員 川勝 浩子 岩田 惠一
平原 順二 石原 芳高

総務文教常任委員会



- 委員長 原野 健一
副委員長 日下 俊子
委員 成本 崇 河本 裕志
島津 幸枝 廣田 均

産業建設水道常任委員会



- 委員長 小野田 光
副委員長 鳶原 舞
委員 木下 公文 竹原 幹
室崎 陸海

予算常任委員会

議長を除く17議員

- 委員長 島津 幸枝
副委員長 木下 公文

決算常任委員会

議長及び議会選出監査委員を除く16議員

- 委員長 平原 順二
副委員長 成本 崇

議会広報編集特別委員会



私たちが議会だよりを担当します

- 委員長 廣田 均
副委員長 日下 俊子
委員 秦井 誠司 木下 公文 河本 裕志 厚東 晃央 鳶原 舞

新体制スタート

議案審議

副市長選任

一般質問

新体制スタート

議案審議

副市長選任

一般質問



ゼロカーボンシティを推進する事業委託に 約400万円

2040年にゼロカーボン(CO2排出ゼロ)を目指している本市は、国の「脱炭素先行地域づくり事業の採択を受けた。まずは、地域電力会社設立に向けて、事業内容等の検証を委託する予算が計上された。

この予算を削除する修正案が提出されたが、賛成少数で否決され、原案を可決した。

問 委託先は。

答 この事業の共同提案者であるみやまパワーHD(株)と中国銀行の子会社である。

その他の共同提案者は「邑久町漁業協同組合」「株岡山村田製作所」「備前日生信用金庫」である。

問 検証業務の委託先は、共同提案に関わっていない会社にすべきでは。

答 5年間の限られた事業で、できるだけ早く地域電力会社を設立する必要がある。

反対

ブラッシュアップ、分析、検証の業務は、第3者の視点が必要で、共同提案者と随意契約したのでは、きちんとした検証ができない。

なにより、地域電力会社の設立の必要性が市民に理解されず、一度立ち止まり再度見直しを進める必要がある。

賛成

地域電力会社を立ち上げ、市内にお金を循環させることが必要と考える。

また、今までその事業の内容を熟知している業者に委託することが妥当である。時間をかけて見直し、判断するためにもこの予算は必要である。

※脱炭素先行地域づくり事業とは 2050年のゼロカーボンの実現に向けて、環境省が先進的な取組を全国で100カ所程度を選定し、その地域で先行して脱炭素に取り組む事業。

市営バスの位置が分かるシステムに 約850万円



両備バス バスロケーションシステム画面

現在、市は市営バスを8路線運行している。

今以上の市民の交通利便性の確保を目指し、国の補助金を利用してバスロケーションシステム導入の予算が計上され、可決した。

問 バスロケーションシステムとは。

答 地図上で、路線やバスの現在位置を表示するシステムである。バスがどこを走っているのか、遅延なく時刻表通り来ているのかが確認でき、安心してバス停で待つことができるようになる。

問 どういった媒体で導入するのか。

答 アプリやブラウザ、その他様々な媒体で利用できるようにする。

問 導入のスケジュールは。

答 9月中旬に業者選定を行い、年度内に導入する予定である。

問 システムを作った終わりではなく、使い方の周知は。

答 しつかり周知徹底を行い、このシステムを価値あるものにしていく。



給食の様子 (牛窓北小学校)

給食費の無償化に 1億1千500万円

問 国からの交付金を給食費の無償化に充てた理由は。

答 3月29日に国から示された交付限度額が、1億1千500万円であり、子育て世帯の負担軽減のため、今回は半年間の無償化を考えた。

問 来年度以降も無償化にする考えは。

答 現在は財源の見通しがつかないため、令和6年3月までの実施とする。

問 幼稚園、保育園、こども園は無償化しないのか。

答 交付金の限度額から今回は対象外とする。園に通っていない子どもに支援が届かないので、不平等が発生する。

問 令和5年9月から令和6年3月までの、小・中学校の給食費を無償化する予算が計上され、可決した。

問 財源は。

答 国からの感染症対応地方創生臨時交付金を充てる。

令和5年第3回(6月)定例会 賛否の公表

Table with columns for proposal name, date, decision, and voting members (賛成, 反対, 欠席, 議長職).

○=賛成 ●=反対 欠=欠席 ー=議長職 (議長は採決に加わりません)

※他の議案については、全員賛成

一般質問

- 成本 崇 (7ページ)**
 - 観光地である牛窓の活性化について
 - 小・中学校の図書館への複数の新聞配備について
 - 市職員の副業について
 - 公共交通について
- 廣田 均 (8ページ)**
 - ゼロカーボンシティ推進事業について
 - 瀬戸内ブルーシャイネズについて
 - 前島の架橋について
- 竹原 幹 (8ページ)**
 - ゼロカーボンシティ推進事業について
 - 合併浄化槽事業について
 - 市有財産の管理について
 - 市道、農道、用水路の整備、管理について
- 小野田光 (9ページ)**
 - ゼロカーボンシティ推進事業について
 - 少子化対策について
 - 道の駅について
 - 岡山いこいの村について
- 鳥原 舞 (9ページ)**
 - すくすくチャイルドサポート事業について
 - 不妊治療の助成について
 - こどもパークの屋外スペースについて
 - 鳥獣対策について
- 平原順一 (10ページ)**
 - 市長、職員との給与及び議員報酬について
 - 道路整備について
- 木下公文 (10ページ)**
 - 牛窓の活性化について
 - ゼロカーボンシティ推進事業について
 - 水道事業について
 - 給食費の無償化について
 - 防災情報伝達システムについて
- 室崎陸海 (11ページ)**
 - クリーンセンターかもめ周辺の廃棄物問題について
 - 文化財保存活用地域計画について
- 島津幸枝 (11ページ)**
 - 部活動の地域移行について
 - ダイバーシティの推進について
 - 食物アレルギーのある子どもへの配慮について
- 石原芳高 (12ページ)**
 - 副市長の政治姿勢について
 - 職員の採用と人事配置について
 - 新型コロナウイルス感染症5類感染症移行後の市政運営について
- 秦井誠司 (12ページ)**
 - 市職員の採用と人材確保について
 - 中学校における部活動の地域移行について
 - 工事指名競争入札について
- 原野健一 (13ページ)**
 - 鳥獣被害対策について
 - 避難支援体制について
 - 消防団組織について
- 厚東晃央 (13ページ)**
 - ゼロカーボンシティ推進事業について
 - 給食費の無償化について
 - ごみ30%削減政策について
- 岩田恵一 (14ページ)**
 - 副市長2人体制について
 - 子どもの遊び場について
 - 水道料金について
- 川勝浩子 (14ページ)**
 - 少子化対策、子育て支援に向けて
 - 性差医療について
 - ユニバーサル社会の実現について
- 河本裕志 (15ページ)**
 - 認知症対策について
 - 帯状疱疹ワクチンについて
- 日下俊子 (15ページ)**
 - ゆめトピア長船について

写真：咲き誇る花しょうぶ (長船町磯上地内)



成本 崇
問 観光地である牛窓の活性化は
答 海からの誘客や有料駐車場を検討する



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

問 ボトルネックとなっている駐車場の不足についての対応は。
産業建設部長
 市が所有する土地のうち観光客の利便性が高いと思われる土地に有料駐車場の設置について検討する。



往年の牛窓港 (資料提供: 写真のマサモト)

問 往年の牛窓は停泊地として良港であった。大型クルーザーなどの停泊場所の整備で海からの誘客につなげては。
田野副市長
 既存の港湾施設等と連携し、誘客を進めてまいりたい。

問 国の地域公共交通活性化再生法等の改正が行われて、持続可能性を上げるためにバス・タクシー等の地域内交通の住み分けを推進することが記載されている。それに伴い、市の公共交通の再構築の考えは。
総合政策部長
 要望をお聞きしながら変えることができるところは変えていきたい。

問 大幅な地域内交通の再構築を検討するには、専門部局を設置して検討することが必要では。
市長
 新たな取組を行う際には、専門の人材が必要である。そうした人材獲得の可能性も踏まえながら新たな組織ができる可能性があれば前向きに取り組んでいきたい。

都市計画審議会条例制定

基本理念
 瀬戸内市らしさを継承しつつ、持続可能な未来を創造する土地利用



昨年度策定した国土利用計画の中で、農業地域・森林地域・自然公園地域の3地域に加え、新たに都市地域(都市計画)を導入してまちづくりを進

める方針が明らかにされている。都市計画を審議する審議会を設ける条例が上程され、可決した。

問 審議会委員の選定は。
答 国土利用計画に引き続きの学識経験者3名、市議会議員3名、関係行政機関の職員や本市の市民で9名程度を市長が任命する予定としている。

問 開催のスケジュールは。
答 今年10月ぐらいに、第1回目を開催したい。2年間で、都市計画区域を県に申請し、マスタープランを策定する。令和6年度中に計画をまとめたい。

問 審議会ができたなら、都市計画を導入するということか。
答 この審議会を設置して、イコール都市計画導入ということではない。どういった都市の在り方が良いかの審議から始めたい。

副市長に 難波利光氏

副市長の選任同意議案が提出され、全会一致で同意した。

所信表明

副市長の選任について、身に余る思いである。入庁してからは税務や農林水産の仕事に従事し、近年では企業誘致に関する業務をやりがいを持って取り組めた。「初心忘るべからず」の言葉を肝に銘じ、老いてなお未熟さを知り、瀬戸内市に貢献できるように自己研鑽に努める。

プロフィール

略歴
 S 61・4 邑久町役場入庁
 H 27・4 岡山県へ派遣(東京事務所)
 H 29・4 産業建設部長
 R 5・3 瀬戸内市役所定年退職

なんば としみつ 利光氏



小野田 光

問 ゼロカーボンシティ今後の進め方は

答 地域電力会社をつくり全体最適を図る



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

※令和3年2月2日に瀬戸内市はゼロカーボンシティ宣言をしている。令和5年4月28日には環境省の脱炭素の先行地域に選定されている。

手段として地域の電力会社が必要と考えている。地域電力を使うことにより、脱炭素エネルギー導入促進に大きな効果が期待でき、電力の地産地消を行う中で全体最適を図っていききたい。

市長 具体的には、どうするの？

脱炭素先行地域のモデル地区として玉津・裳掛地区、そして市が持つ公共施設を中心に脱炭素化を進め、その後市内全域へと発展させていきたい。

市長 ゼロカーボンシティ推進事業の今後の進め方は？

ここ3年は、新型コロナウイルスに伴う観光需要低迷等を受け厳しい状況である。今後は、どのようなサービスを提供していくか、検討を重ねながら、責任のある方向性を今年度中に示したい。

市長 道の駅の現状及び今後の在り方をどう考えるの？



非常に重要な視点だと思う。今後ビジネスセンターをつくる計画の中で実現していきたい。

市長 子育て支援策として、収入確保の観点からお母さん方が働く場所を市が窓口となり、事業者につなげる仕組みを作っているのか？



鳶原 舞

問 おむつ用品等助成の更なる充実を

答 今後、対象商品の追加に向けて研究する



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



保護者から要望の多い離乳食も対象にしてほしい

計画中のこともパークについても紫外線対策をしている保護者が増えていく。屋外の屋根付きスペースの屋根を広げては、

令和4年6月と9月に質問した猟期中の捕獲補助金について、協議の進捗及び令和5年度の対象者は、

近隣の自治体の動向も参考に今後研究する。

不妊治療の助成について、タイミング法や人工授精をはじめとする一般不妊治療も対象にしては、

今後敷地内での配置検討や予算の調整等、整備計画の策定において検討する。

今後敷地内での配置検討や予算の調整等、整備計画の策定において検討する。



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

廣田 均

問 前島の架橋の推進は

答 多くの市民の意見を聞きながら検討する



先行地域の対象は、太陽光パネル設置場所、未利用市有地と電力系統を接続する立地、コミュニティ協議会など取組に先進がある3点で選定。地域電力会社の概要は、地域である程度太陽光発電ができる形となれば売

環境部長 ゼロカーボンシティ推進事業の詳細は？

岡山県離島振興計画に架橋の必要性や方策を検討する旨を明記した。今後多くの市民の皆さまの意見を聞きながら検討していきたい。

市長 前島の架橋は、島民にとって悲願であり、昨年8月に全員署名の要望書を市長に手渡した。急病人や火災等、夜間には毎日不安をかかえている。市道扱いのフェリーに変わる早急な架橋の必要があると思うが。



絶好調の女子野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」

女子野球タウンの認定を申請し、協働する形で関わっていききたい。クラブハウスは必要性について慎重に検討していききたい。

三浦副市長

女子野球チーム瀬戸内ブルーシャインズが瀬戸内市を拠点として大活躍している。市の宣伝効果、経済効果もあり市としてどう関わっていくのか。クラブハウスの必要性をどう思うか。

電をする計画であり、市が半分以上出資しコントロールを行う。廃カキ筏の処理は、チップ化し小型炉ボイラーの熱源として利用する。



個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。

竹原 幹

問 地域電力会社は説明通り実現するか

答 国の交付金を充て、競争力を持たす



公共用地に設置された太陽光パネル

太陽光発電は雨の日や夜間には発電しない。中国電力のバックアップなしに、蓄電池だけで賄えるのか。

環境部長 地域電力会社は、太陽光発電設備の導入に国の交付金を充てることができ、発電コストを下げ、競争力を持つことで実現性を確保していきたい。

地域電力会社は、初期投資ゼロ、大手電力会社は使わない、電気料金は安くなるなどのことだが、実現性は、

今後、引き続き研究していく。

下水道が来ない地区での不公平感を取り除くためにも、合併浄化槽を市が設置し、維持管理する制度にはどうか。

産業建設部長 現地を確認し、事業者に対して、通行に支障のない状態、地元にも迷惑のかららない元の状態に戻してもらおうなど対処を指導している。

新たな開発で、農道や水路が事業所の敷地内に取り込まれる事態が起きている。どう対応するのか。

当初は、中国電力との契約をそのまま残し、地域電力会社に能力が出てきたら切り替える。

田野副市長



問 長船地区の企業誘致も進んでいるが、南北道からブルーラインまでの道路整備を考えては

市長 長船地区に企業団地が増えたので、今後の状況を見ながら対応していく必要があると考えている。

平原 順二

問 瀬戸内市の道路整備を考えては

答 今後の状況を見ながら対応していく



南北道路



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 前回の議会では、この問題に対して納得できなかったが、今年の2月議会以降の対応はどうなったのか。

市長

議員の納得のいく答弁ができていないというご批判に対して、謙虚に真摯に受け止める必要があると思っています。

問 市長の今後の対応は。

市長

市民にとって喜ばれる場所に変えていくという考え方は、重要であり共感できると思っています。市としてしかるべき対応を図る必要があるのではないかと思います。持っている。

問 文化財保存活用地域計画を令和5年2月議会でご古墳の整備やまち並みの整備について質問

文化財保存活用地域計画を令和5年2月議会でご古墳の整備やまち並みの整備について質問



クリーンセンターかもめ

をし、地域一体となった取り組みを進めていくと答弁があった。それ以降の取り組みの進捗状況と、今後の具体的なスケジュールは。

市長

官民連携で色々な取り組みを展開していく。スケジュールとしては、まずは現状調査を行い、方針をしっかりと立てていくということが必要ではないかと思う。



問 令和5年9月から令和6年3月まで給食費を無償化するという事だが、物価高騰、エネルギー価格の高騰で、あらゆる物が高騰している現状がある。

市長 市民の経済的負担を少しでも軽減するために来年度以降も継続してはどうか。

木下 公文

問 来年度以降も給食費無償化をしては

答 財源を確保出来るよう検討する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

市 財源をどのように捻出するかを庁内で真剣に議論していく必要がある。続けられるような方向になればと考えている。

問 本市の水道料金は他と比較して高いと言われているが、なぜ高いのか市民が納得いく丁寧な説明が必要だと考えるが、見解は。

上下水道部長 今後は、広報紙やホームページで知らせていきたい。



福山浄水場の全景写真

問 水道料金が高いことを理由に、転入のチャンスも失っている可能性もある。何より家計に響いているという声をよく聞く。

市長

市の水道は、地方公営企業法の中で成り立っていて無闇に一般会計からお金を繰り出せない。国の制度をうまく使いつつながら市民に負担が及ばないように経営努力していく。

問 市職員の障がい者雇用を積極的に進めることを求める。

三浦副市長

令和4年の障がい者の実雇用率は2.83%。(法定雇用率は2.6%)令和8年7月以降は法定雇用率が3%になるため、それ以上を目指す。あわせて、受け入れる職員や市民の意識改革も必要なので、両輪で取り組む。

市長

問 アレルギーのある子どもにも配慮した学校給食の提供を。

学校給食の無償化とアレルギーのある子どもに格差が広がることについては、来年度予算組みにあたって、対応方法を検討し、説明できるように、引き続き頑張る。

島津 幸枝

問 部活動の地域移行は種目ごとの協議を

答 部活動のある種目から順次開催する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 部活動の地域移行については、外部指導員の確保が重要。地域移行の協議は、スポーツ種目ごとに関係者を集め開催すべきではないか。

教育次長

色々なスポーツを一堂に会したものでなく、部活動で今ある競技種目から、順次、協議会を開催していきたい。

問 4月から部活動の朝練が廃止された。外部指導員などの配置で、要望に応じ再開できないか。

教育次長

要望等があれば、必要に応じて検討する。



部活動の様子



三浦副市長

三浦副市長の就任から3か月足らずではあるが、瀬戸内市に対する思いと、これからの責務を問う。

社会経済状況が大きく変化していく中で、持続可能で、満足度の高いまちづくりのために力を尽くしていきたい。
また、この瀬戸内市に生まれ育ち、暮らしている者としても恩返しができるよう、「しあわせ実感都市瀬戸内」の実現に邁進していきたい。

つながりが大きく影響を受けた事を感じている。感染症法の取り扱ひも変更になり、市民の皆さまの活動が、コロナ禍以前よりも盛んになることを期待している。

コロナ感染症5類移行後、市民と協働のまちづくり方策を問う。

総合政策部長

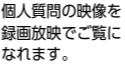
地域の方々の意見を聞き、中間支援組織による支援など、コロナ禍後の新しい協働のスタイルを模索していきたい。



石原 芳高

副市長の責務をどのように考えているか

市民満足度の高いまちづくりに邁進する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

田野副市長の任期も最終年である。就任して約4年間ではあるが、副市長としての総括を問う。

田野副市長

就任時の所信表明で述べた、地方創生の実現を目指した4年間であったが、3年間の新型コロナ禍により、地域や社会の

秦井 誠司

中学部活動の地域移行について方向性は

地域の実情に応じた段階的な体制を検討



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



教育次長

中学校における部活動の地域移行について、目指す方向性と今後の進め方は。

部活動の地域移行について、少子化が進行する中で、子どもたちがスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる環境を確保することを目的としていく。国や県の方針を踏まえ、地域の実情に応じた段階的な体制整備を検討している。スポーツ少年団や地域のスポーツ団体とも協議、情報交換を行っていきたく考えている。



中学校の部活動が盛んな様子

若者人口が減少し、民間企業の採用活動が早期化する中、職員の人材確保についての考えは。また、DX推進の一方で、ITにたけた人材確保の対策は。

総務部長

受験を考えている方が計画を立てやすくなるよう、採用情報を早期に周知している。このことが多くの方の受験につながるものと期待している。

また、民間企業の早期採用に対応し、高校新規卒業者の試験日程を前年よりも早めている。さらに、オンライン説明会も実施し、職場の情報を提供するなど受験者の不安解消に努めている。
DX推進については、内閣府のデジタル専門人材派遣制度の活用などについて研究を予定している。



原野 健一

消防団員の成り手不足への対策は

国からの通知に基づき処遇改善を行う



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

災害時には消防団の機動力が不可欠であるにもかかわらず、最近消防団員の成り手不足がよく耳にする。
少子高齢化時代の難しい問題と思われるが、現状はどうか。また、対策は何か考えているか。

消防長

地域防災を担う要である消防団員は、全国的に減少傾向にある。

本市においても、合併当時の団員定数539名に対して、令和3年度には、実員421名となった。

令和4年度に消防団員定数を見直し、450名としたが、現在403名と減少している。

対策として、国からの通知に基づき、消防団員の処遇等の改善に取り組む、年額報酬の増額や、出勤報酬を新たに創設した。

また独自に入団促進パンフレットを作成して、



操法大会の様子

消防団の機動力の充実は、管内事業所に配布、掲示している。

消防長

消防団車両整備計画に基づき、消防団車両の更新を行い、最新の資機材整備など消防力の強化を図っている。

複雑多様化する災害に対し、地域防災力の強化を図り、市民の安全、安心につなげていく。



厚東 晃央

就学前の子どもの給食費も無償化に

難しいので別の子育て支援を考える



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

物価高騰への生活支援や子育て支援として、幼稚園・保育園・子ども園に通う就学前の子どもたちの給食費の無償化も実施すべきではないか。

市長

年間4千万円程度必要である。無償化の範囲を拡大することは現実的には難しい。

少子化対策としても必要である。税金の使い方、優先順位のつけ方で財源を確保し、無償化の実施をすべきではないか。

市長

来年度続けられる可能性があるかないかが非常に大きなところである。子どもはやがて、小・中学生になるので、まずはそこを重点的に考えている。就学前の子育て支援策は別の方法を考える方針である。



しっかり食べる子どもたち(福田保育園)

子育て支援の充実として、繰り返し求めたきた学校給食費の無償化がやっと実現された。令和5年9月から令和6年3月まで無償化を実施する。今までの子育て世帯へ支援策は必要なので、来年度以降も継続すべきではないか。

市長

給食費無償化には年間1億8千500万円程度必要である。来年度以降も財源が確保できるように頑張りたい。保護者の負担が増えることのないように努力したい。



河本 裕志

問 見守りシール、賠償責任保険の周知を

答 機会を使って周知に努める



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

令和2年14件、令和3年10件、令和4年8件だが、市が把握している件数で、警察などの対応はもっと多い件数になる。

福祉部長

問 認知症高齢者の行方不明者数は。

令和2年14件、令和3年10件、令和4年8件だが、市が把握している件数で、警察などの対応はもっと多い件数になる。

福祉部長

問 高齢者徘徊対策促進事業の認知症見守りシール利用者は。

日常生活自立度2以上の人数は、1,492人である。

福祉部長

問 認知症関連の一般質問で提案した中の見守りシール、個人賠償責任保険加入できる認知症患者の現状は。

認知症相談窓口
瀬戸内市地域包括支援センター
邑久町山田庄862-1
瀬戸内市総合福祉センター内
☎(0869)24-0001

事務の簡素化や改善の余地がないのか、担当とも協議していく。

市長

問 日常生活自立度2以上の人数1,492人に対して加入が22人少ないのでは。

福祉部長

問 日常生活自立度2以上の人数1,492人に対して加入が22人少ないのでは。

岩田 恵一

問 副市長2名体制の役割分担は

答 推進テーマの業務と担当部門を分ける



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



市長・副市長2名体制の役割分担は。

市長

三浦副市長は、ダイバシティ推進室、総合政策部、市民部、福祉部、こども・健康部を担当。田野副市長は、DX・ゼロカーボンシティの推進と三浦副市長以外の業務を担当。私は、ふるさと納税、シティプロモーションを精力的に行い、歳入の確保、関係人口の創出につなげていく。

いづも・健康部長

問 市の子育て環境施策は。

ゆめトピア長船周辺に、こどもパークを計画している。幅広い意見を取り入れると共に、自然環境に配慮した天然素材・リサイクル素材の利用も検討していく。また、スポーツ公園冒険の森、プレーター、自治会遊具整



水道料金が高いので。
要件として、主に浄水コストが高い吉井川を水源としている他、起伏が多い地形、人口密度、工場などの大口利用者が少ない等により料金が高くなっている。
今後、経費削減、漏水改善等で現在の料金を維持し、県広域水道企業団からの受水により安定供給体制を維持していく。

上下水道部長



日下 俊子

問 ゆめトピア長船の駐車場減は魅力半減では

答 330台は残る



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 どちらも活発に使用されている、市民ホール機能・公民館機能・保健福祉機能が、本当に統合出来るのか。

総務部参与

問 にぎやかなのが当然かであるべき図書館が共存するが、静かな環境が確保できるのか。

教育次長

問 移転後の活動に支障がないよう調整している。

総務部参与

問 ゆめトピア長船の1階トイレは和式の方が多いが、手を入れる時にどうして改修しないか。

総務部参与

問 平成30年から、長船町公民館を守る要望、ゆめトピア長船に保健福祉機能を残す要望が出されてきたが、二転三転しながら庁舎再編はおかまなしに進んできた。今後ゆめトピア長船に公民館が移転し、こどもパークができるのを残すだけになった。

総務部参与



川勝 浩子

問 デジタル障害者手帳ミライID導入を

答 市での導入を前向きに検討する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



問 デジタル障がい者手帳「ミライID」を導入してはどうか。

福祉部長

市の障害者割引のある公共施設での利用が考えられる。前向きに検討するか。
問 視覚障害のある方への公的な通知に、音声コードをつけてはどうか。

福祉部長



昨年行われた婚活イベント

問 少子化対策の入り口は結婚。結婚支援の拡充を。

病院事業部長

問 女性特有の体の不調に悩む人は多い。市民の安心のために、市民病院に女性専用外来を設置してはどうか。

教育次長

問 邑久町時代に始まったブックスタートから22年が経った。更に充実させてはどうか。

いづも・健康部長

引き続きイベント等の開催で、出会いの機会を創出するなど、取り組みを進めていく。

問 アンケート結果などを参考に、どういったことができるか検討していく。



地域のかがやき

地域の写真を市民のみなさんからも募集します
(下記メールアドレスにお送り下さい)



お星さま願いをかなえてね
(長船町油杉こども会)



4年ぶりの夏祭り
(邑久町笠加コミュニティ)



夏休みは寺子屋
(長船町土師交流サロン)



茅の輪くぐり
(牛窓神社)



知ってますか?
文化財



作陶中の黒井千左(完治)氏

虫明焼製作技術

邑久町虫明で作陶されている「虫明焼」は、県指定伝統的工芸品に指定されています。また、その製作技術は、県重要無形文化財に指定され、高度に体现する保持者として陶芸家の黒井千左氏が認定されています。

虫明焼がいつからはじまったのかは、定かではありませんが、およそ300年前、虫明の地で焼かれた、岡山藩筆頭家老伊木家のお庭焼が起源と言われています。

黒井氏は、その伝統技法を継承し、茶陶を製作するだけではなく、素地を彫って異なる色土を嵌め込む象嵌技法を用いて、装飾性豊かな新しい作風の作品も手がけています。

今年11月には、岡山県で初の伝統的工芸品月間国民会議全国大会が開催され、虫明焼も取り上げられます。

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)
都合により、日程が変更となる場合もあります。

- 8月30日(水) 本会議 9:30~
- 9月 6日(水) 本会議 9:30~ 一般質問
- 7日(木) 本会議 9:30~ 一般質問
- 8日(金) 本会議 9:30~ 一般質問
- 11日(月) 本会議 9:30~
- 22日(金) 本会議 9:30~

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。
6月定例会で、議長・副議長も変わり、委員会構成も刷新されました。残り2年間の任期に向け、認識も新たに、それぞれ議員の手腕が発揮される所所でありたい。

議会広報編集特別委員会メンバーが新しくなりました。市民の皆さんに議会の活動をわかりやすく、読みやすく伝えていくのが、委員会の使命であると思っております。

これからも皆さんに親しまれる「議会だより」をお届けしてまいりますので、楽しみにしていただければ幸甚に存じます。

(廣田 均)

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <https://www.city.setouchi.lg.jp> この市議会だよりは再生紙を使用しています

本会議の映像を、生中継および録画放映でご覧になれます。

